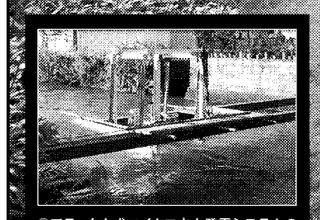
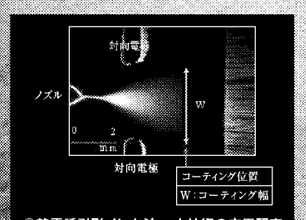
福岡工業大学は、地域社会・企業の発展に貢献します。

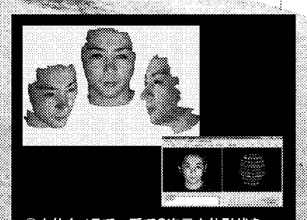
「科学技術創造立国」を目指す我が国は、産学連携に力を入れています。福岡工業大学では、早い時期からその重要性を認識。産業界との連携を積極的に進めてきました。本学では、地域・社会のニーズに先進的な技術により対応するとともに研究成果の実用化を目指し、研究を通した社会貢献を行っています。



◎フラッタ方式マイクロ水力発電システムの実証実験風景(福岡県うきは市)



◎静電誘引形インクジェット技術の応用研究



◎立体カメラで一瞬で3次元立体形状を撮影し、寸法や空間座標を計算

◎河川氾濫予測情報提供システム

発行体格付

「A」

学校法人福岡工業大学として格付を更新、「A」を維持しました。[格付の方向性:安定的]

For all the students! 50th Anniversary

FIT Fukuoka Institute of Technology 福岡工業大学

2013年、福岡工業大学は創立50周年を迎えました。

【お問い合わせ】
〒811-0295　福岡市東区和白東3丁目30-1
福岡工業大学　総合研究機構　産学連携推進室
TEL092-606-3236　FAX092-606-0636
E-MAIL:sangaku@fit.ac.jp　URL:http://www.fit.ac.jp/cro/

産学一如（さんがくいちにょ）

産学一如とは、産業と大学は一体となって、社会のニーズを満たすべきであるという考え方です。九州産業大学は、広く産業界の期待に応えられる「実践力」「熱意」「豊かな人間性」を持った人材を輩出しています。

情報科学部
■情報科学科

工　学　部
■バイオロボティクス学科
■機械工学科
■電気情報工学科
■物質生命化学科
■都市基盤デザイン工学科
■建築学科
■住居・インテリア設計学科

教室だけでは学べないことがある。

KSUプロジェクト型教育

九州産業大学では、「KSUプロジェクト型教育」を全学的に展開しています。たとえば、フォーミュラカーやロボットの製作、地域と連携した街づくりや伝統工芸品の振興など、さまざまな現場の声を聞き、その意味を知る、それに基づいて現場で動く。この教育の合言葉「キク・シル・ウゴク。」を続けることで、実社会で必要となる「実践力」「共創力」「統率力」を身に付けていく。企業、行政、地域とコラボレーションした現場実践型の教育がこの「KSUプロジェクト型教育」です。九州産業大学では、人文・社会・理工系から芸術系までがそろう総合大学ならではの新しいプロジェクトを次々に展開。豊かな人材と大きな付加価値を生み、各方面から高い評価を得ています。

KSU KYUSHU SANGYO UNIVERSITY 九州産業大学

●国際文化学部　●経済学部　●商学部第一部　●商学部第二部
●経営学部　●情報科学部　●工学部　●芸術学部　■大学院

〒813-8503　福岡市東区松香台2-3-1　TEL092-673-5050(代表)

九州産業大学

九州産業大学は2003年に学長を機構長とする「学術研究推進機構」を設置し、「産学一如」の建学の理想のもと、積極的に産学官連携を推進している。同大学のデザイン分野では、健常者と色覚障がい者の双方が識別可能なユニバーサルデザイン方式の発光ダイオード(LED)信号灯器を信号機メーカーと研究開発を進めた結果、12年に行政の協力のもと、福岡市内や都内で社会実験を実施した。現在、信号機メーカーと改良を重ねており、公共の安全に貢献できる信号灯器の実用化に向けて鋭意取り組んでいる。また情報科学分野では低価格で効率的な漁が可能となる自律制御型大光量LED集魚灯を照明メーカーと共同開発中で、研究成果の一部機能を搭載した船上灯と水中灯が製品化されるなど、産学官連携の成功実績を上げている。

帝京大学

帝京大学理工学部は特徴的な教育が行われていることで知られる。航空宇宙工学科では専門分野のエンジニアリング能力を身につけ、社会に役立つ「実学」を実践し、現場で活躍できる人材を育成する。とりわけユニークなのは日本で唯一のヘリパイロットコース。全国規模でニーズが高まっている災害救助や救急医療などの現場で社会貢献を担うヘリコプター操縦士育成を進めている。

一方、機械・精密システム工学科のオートモビル・テクノロジー・コースでは、機械工学の粋を集めて作られた機械である自動車について、具体的な知識と技術の習得を通じて、モノづくりに対する強い意欲と豊かな感性、独創性を有する人材の養成に取り組む。コースを修了し卒業すると、二級自動車整備士の受験資格が得られる。

神奈川大学

神奈川大学はリチウムイオン二次電池(LIB)の研究者育成に力を入れている。今年度から県内の中小企業を主な対象にオープンラボを新設し、研究で培った豊富な知識や実験設備の提供を始めた。中小企業では多額の設備投資が困難な場合も多く、大学の資産を開放することで県内企業の競争力向上に貢献する。

ラボの開設は神奈川県の「2012年度大学発・政策提案制度」に採択されたテーマ。期間は14年度までの2年間で、参加企業のニーズに合わせて材料開発から性能試験、分析などを実施する。事業費(単年度1000万円以内)は県と大学が折半し、企業の負担は実験などで生じた実費分のみ。年間を通して講演会も実施しており、県内企業のビジネスチャンスの拡大につなげていく。

東京電機大学

東京電機大学は「技術を通して社会に貢献できる人材の育成」を重視している。教職員および学生が、世界と対話できる技術力を磨けるように世界各国の技術者や研究者らと連携を図り、国際的な協力関係を生み出す機会作りを促進する。

例えば、米国自動車技術協会が主催するエンジニア育成の教育プログラム「Formula SAE」に学生を派遣。世界各国の学生に混じりフォーミュラーカーを作る会社を仮想的に運営し、作った車両の性能やコストなどを競う取り組みを行った。またマサチューセッツ工科大学(MIT)、清華大学、ソウル大学などの学生と混成チームを結成し、マシンの構想から設計まで行う取り組み「IDCロボットコンテスト大学国際交流大会」に参加するなど、世界に羽ばたく技術者の育成を強力に推し進める。

産学連携を推進……大学……人材育成に注力

東京都市大学

東京都市大学は2009年4月に「武蔵工業大学」から名称を変更した。13年4月には環境分野、情報分野の教育・研究の一層の充実を図るため、既存の環境情報学部を改組し、環境学部(環境創生学科・環境マネジメント学科)とメディア情報学部(社会メディア学科・情報システム学科)を開設した。

「産官学連携」では00年4月に設立した産官学交流センターで、官公庁、民間企業との交流を通じ、さまざまな研究プロジェクトを推進。また11年2月には横浜市水道局と連携・協力に関する基本協定を締結し、他機関との連携による研究体制の強化を図っている。

その他の活動としては通常の受託研究契約による「一般受託研究」や、1件50万円以下の調査、分析、技術相談・指導などを簡便な手続きで行う「簡易受託研究」がある。

福岡工業大学

福岡工業大学では研究と産学連携推進に関する全学的マネジメントを総合研究機構が実施している。同機構は研究者の研究資金獲得支援や、予算管理を行うとともに、機構内に設置された産学連携推進室が特に地元企業との連携強化に取り組んでいる。

連携強化策の一環として特徴的なのは企業との会員制ネットワーク組織「FITテクノクラブ」の運営。メールマガジン発行による補助金・イベント情報の提供や、専任コーディネーターによる企業訪問、技術相談や交流会開催などを通じた信頼関係の構築を図るとともに、企業が抱える技術的課題には学内研究シーズとのマッチングによる共同研究を企画・提案する。必要に応じて他機関との橋渡しや知財戦略面での検討も行い企業側で安心できる解決策の提供を目指している。

芝浦工業大学

86年の実学教育を伝統とする芝浦工業大学は、科学に裏付けされた工学を社会と世界の諸相を通して学び、社会と世界が抱える諸問題の解決に貢献しうる実践型技術者の育成を目指している。この目的を実現するための要は「工学教育」「技術革新を目指す研究」「社会・経済的価値創造(イノベーション)」の三位一体推進にあると捉え、そのエンジン役として、複合領域産学官民連携推進本部を設置している。

東京の下町にある中小企業の技術を結集させた深海探索ロボット「江戸っ子1号」の開発プロジェクトに参画するなど、地元中小企業との連携強化や、地域が抱える技術的課題への対応を行いつつ、それらのプロジェクトに学生を積極的に参画させることで、産学官連携活動を通じた人材育成を推進している。

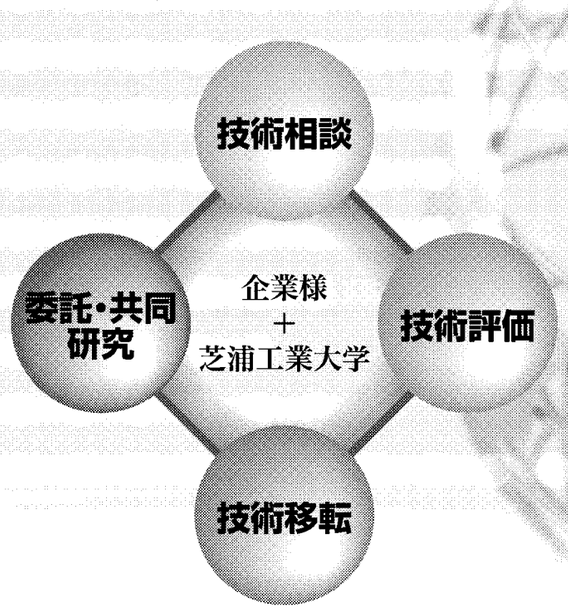
東洋大学

東洋大学は「哲学教育」「国際化」「キャリア教育」を柱に、教育・研究並びに産学連携活動の推進を行っている。「知的財産・産学連携推進センター」では、海外の協定校や企業と連携し、哲学の精神に基づく国際産学官連携活動「アジアのものづくり」事業をスタートした。

理工学部・総合情報学部が教育・研究活動を行う川越キャンパスにおいては、50年以上の歴史を持つ「工業技術研究所」が近隣地域を中心とする産業界との窓口になる一方、「産学協同教育センター」が中小企業を支える高度な技術者養成を目的とした「中核人材育成講座」、埼玉県の事業「次世代産業カレッジ」、学生と企業をつなぐ「長期産学協同実習」を核に、企業・学生双方への教育を通した産学連携活動を展開している。

芝浦工業大学の産学連携

芝浦工業大学では企業に向けて4つのサービスを提供し、あらゆるニーズにもれなく対応いたします。
新しい価値を創造し、貴社の企業価値向上に貢献することをお約束します。



芝浦工業大学と共に

連携コーディネータが窓口になって個別ニーズに柔軟に対応。徹底して企業の視点に立ち**「技術相談」「委託・共同研究」「技術評価」「技術移転」**といったサービスを提供しています。連携コーディネータによる技術相談は全て無料で行なっていますので、まずはお気軽にお問い合わせください。

2012年度 産学官連携活動実績

●受託・共同研究
167件／約203百万円

●技術相談
104件、うち共同・委託研究への発展16件

●競争的資金
公的資金の獲得額(科研費を除く)47件／約303百万円

芝浦工業大学

〒135-8548　東京都江東区豊洲3-7-5　産学官連携・研究支援課
E-mail:sangaku@ow.shibaura-it.ac.jp
TEL:03(5859)8660
担当:石井、片野(産学官連携コーディネータ)

帝京大学 宇都宮キャンパスは プロフェッショナルを養成します。

理工学部　航空宇宙工学科
ヘリパイロットコース

災害救助、急病人搬送、救援物資運搬、…etc.　現在、ドクターヘリを含め、様々な分野で活躍するヘリコプターパイロットが必要とされています。4年制大学では国内初である本コースでは、優れた操縦技術はもちろん、幅広い教養と知識、問題解決能力などを兼ね備えたパイロットを養成します。

理工学部　機械・精密システム工学科
オートモビル・テクノロジー・コース

自動車分野の開発・設計技術者養成を目的とし、修了して卒業時には二級自動車整備士の受験資格が取得できるコース。機械工学の基礎に加え、自動車整備工場として機能が可能な施設(オートモビル・テクノロジー・センター)での実習や実験などを通し、自動車業界が求めるスペシャリストを育てます。

■経済学部　地域経済学科
■理工学部　機械・精密システム工学科
　航空宇宙工学科
　ヒューマン情報システム学科
　バイオサイエンス学科
　情報科学科通信教育課程
■医療技術学部　柔道整復学科
■大学院　理工学研究科総合理工学専攻　博士課程(前期/後期)
　理工学研究科(通信教育課程)情報科学専攻　修士課程
　医療技術学研究科柔道整復学専攻　修士課程

TEIKYO 帝京大学
宇都宮キャンパス

〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1 TEL.028-627-7111(代表)
http://www.riko.teikyo-u.ac.jp/　E-mail somu@riko.teikyo-u.ac.jp

NEWS 「鳥人間コンテスト」出場決定!!　宇都宮キャンパスの工学系サークルとして、人力飛行機の製作を行っている「SKY PROJECT」。テレビでおなじみの「鳥人間コンテスト」の予選を見事突破し、今夏、念願の琵琶湖を飛翔します。